

事 業 計 画 書

事 業 名	沼津発日ロ交流事業 ～モスクワ・ウラジオストク日ロ交流写真展～
実 施 場 所	道の駅くるら戸田 及び プラサヴェルデ
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載して下さい。 2019 年 4 月初旬 ～ 2019 年 8 月 中旬

◎事業概要

※事業の概要を 100～200 字で簡潔に記載して下さい（事業の紹介などで使用します）。

- ・2018 年にロシア人ドキュメンタリーカメラマンが、ロシアと沼津の歴史を中心に戸田、下田、富士市等を撮影した「日ロ交流モスクワ写真展」（モスクワ開催）の作品約 60 点を沼津市で紹介する「日ロ交流写真展」を開催。
- ・帆船 Ami 号による沼津港からウラジオストクまでの 3 ヶ月半の軌跡を紹介する日ロ交流記念講演 溜 光男氏(帆船 Ami 号船長 ロシアにおける 2018 認定事業)

◎目的

※何を目的として実施する事業であるか（事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）や、課題解決のためにどんなことが必要と考えるか）を記載して下さい。

沼津市（戸田）には 160 余年前、難破したロシア船乗組員 500 人が半年間滞在し、日本人が洋式帆船建造を学んだ史実をもつ。日ロ関係が注目されている昨今、史実を生かし民間レベルでの日ロ交流（ロシアからのインバウンドによる観光振興、次世代交流等）を促進するため、地域や次世代の関心を喚起する契機とする。

◎実施内容

日 程	実施項目・作業項目
2018. 12. 24	※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。 モスクワ・ウラジオストク日ロ写真展関開催検討会第 1 回開催（6 名） 戸田にて第 2 回打合せ（実行委員会メンバー他、戸田地区関係者参加） ・開催企画検討及び役割分担（会計、広報、資料作成、ロシア側との連絡、会場係、寄付金、および協賛の募集、開催準備要員）の決定及び写真展事業内容の精査、招待者、来賓者等の検討、講演会テーマ決定
2019. 1. 26	
2019. 2 月中旬	・会場下見
2019. 4 月上旬～	・ポスター・チラシ デザインの検討 ・原画の選定、プリント、パネル制作業者候補検討、会場打合せ
2019. 4 月中旬～	・スポンサー企業選定、オープニングセレモニー開催内容・招待者等依頼 ・スポンサー募集開始（4 月上旬締切り）ポスター、チラシ本印刷、写真パネル等の制作、資料作成等の準備。 沼津市他周辺市町への広報（チラシ、sns、広報誌他） マスコミ、学校、その他県内外の日ロ関係機関への広報開始・参加者募集（地域住民、地域の小中高大学生、在日ロシア人、行政・教育関係者、経済界他）

<p>2019.5月中旬～ 6月中旬</p>	<p>・沼津発日ロ交流事業 ～モスクワ・ウラジオストク日ロ交流写真展～ 開催日 5月～6月を予定 会場 プラサヴェルデ 展示ギャラリー 対象 地域住民、小中高大学生、行政・教育関係者、商工会議所等 経済界、在日ロシア人、日ロ関係機関他 オープニングセレモニー・記念講演会 講演会 帆船Ami号による沼津港からウラジオストクまでの3ヶ月半の軌跡を紹介する日ロ交流記念講演 溜 光男氏(帆船Ami号船長 ロシアにおける2018認定事業) 参加者 100人程度(地域住民、行政・教育関係者、商工会議所等 経済界、在日ロシア人、日ロ関係機関他)</p>
<p>2019.7月中旬～</p>	<p>・道の駅くるら戸田にて、写真展開催、日時未定</p>

◎事業効果

※事業の実施により、期待される効果を記載して下さい。

- ・江戸時代、難破したロシア兵を助けた戸田でのロシア人との交流が、現在の戸田港まつりで同時開催される「ロシア人供養祭&プチアーチンパレード」で再現されている歴史的史実を子どもから大人まで多くの人に知ってもらう機会になる。
- ・日ロ交流写真展を通じ、ロシアで、富士山、駿河湾、日ロの歴史等への関心が高まっていることを理解し、この機会をとらえた文化、観光等民間交流への関心を高めてもらう。
- ・写真展のアンケートの意見と併せて沼津市のPRをモスクワでの写真展関係者に知らせる等の工夫をすることで、双方向の行き来が可能となるようにする。
- ・モスクワでの写真展や、帆船Ami号の航海(英国国際帆船協会(STI)主催の国際親善帆船レース招待)によりロシアで高まっている戸田を中心とする地域への興味や関心を、東部地域が連携するインバウンドツアー造成や、次世代文化・教育交流につながる契機とする。

<p>成果指標</p>	<p>※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定して下さい。 戸田観光協会 facebook フォロワー数 1350人 戸田港祭りへのロシア人観光客数 1割増 外国人観光客の満足度(大いに満足した・満足した) 70%</p>	<p>指標の検証方法</p>	<p>※左記指標の検証方法を記載して下さい。 戸田観光協会 facebook(現在のフォロワー数 1289人) 戸田港祭り観光客数調査(ロシア人) 戸田港祭り外国人観光客アンケート調査</p>
-------------	---	----------------	--

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

<p>公益性 ・ 必要性</p>	<p>※公益性：地域のまちづくりの推進に如何に寄与できるのか、不特定多数の市民の利益にどうつながるのか等について記載して下さい。 ※必要性：事業を実施する意義や、本ファンドによる助成が有益で質の高い事業展開につながる理由を記載して下さい。 (公益性) 沼津市が日ロ交流の歴史的原点であり、日本の日ロ史としてもまれな史実を持つことを、改めて市内外の方に情報発信することで、観光、教育、文化交流等地域の活性化やまちづくりを推進する契機となる。 (必要性) 日ロ交流は重要な外交政策の一つであり、時宜を得た民間交流促進が望まれている。2019年写真展開催は、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を前に、ロシア人を中心としたインバウンド事業に拍車をかける効果がある。</p>
--------------------------	--

<p>地域性</p>	<p>※地域の実状と課題をどう捉え、事業を行うことによってどのように課題を解決するのか、また、地域の特性や地域資源をどのように活かしたか、などについて記載して下さい。</p> <p>幕末、日ロ和親条約締結のため来航したプチャーチン副提督率いるロシア軍艦ディアナ号の難波により、代船ヘダ号建造に尽力し、現在の日ロ交流の夜明けともいえる地であることを活かした本写真展の開催は、地域の観光振興や文化交流等の意識を高め、交流人口を増加させるといふ沼津市（戸田）の課題解決に寄与する。</p>
<p>先導性</p>	<p>※事業の新規性や独自性など、新たにチャレンジする点、工夫した点などについて記載して下さい。</p> <p>これまで、ロシアとのネットワークを有する当団体は、地域と連携し、創意工夫により 30 名余のロシア人が戸田港まつりに参加するに至った。ロシア関係者やロシア大使館の協力を得、モスクワで日ロ写真展を開催できたことは、他団体ではなしえない。さらに、沼津市で開催する写真展や講演等でも、ロシア大使館の後援を取り付ける予定であり、日ロ交流推進について、他地域にはない先導性がある。</p>
<p>発展性 ・ 継続性</p>	<p>※発展性：活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。 ※継続性：本ファンドによる助成終了後も継続的・自立的な活動とするために、事業実施体制や活動資金の確保などどのように取り組んでいくのかについて記載して下さい。</p> <p>沼津市を皮切りに東部地域（三島市他）での写真展の巡回開催を進め、東部地域の日ロ交流への意識を醸成する。今後は、国際交流等の名目での助成金検討や、企業寄付等を活動資金とし、次世代への日ロの歴史を継承する教育普及活動、インバウンドツアー企画、次世代文化・教育交流等につなげていく。</p>
<p>実現性 ・ 妥当性</p>	<p>※実現性：事業目的と事業内容は合致しているか、実現のために事業内容、予算の積算、自己資金の準備、スケジュール等について工夫した点を記載して下さい。 ※妥当性：各種法令順守、関係者との調整状況、費用に対する事業効果の妥当性について記載して下さい。</p> <p>本写真展開催にあたり、観光振興、地域活性化、次世代交流等を目的に、民間レベルでの日ロ交流の機運を醸成するため、度重なる協議を進めている。記念講演についても、英国国際帆船協会（STI）主催の国際親善帆船レースに招待された日本丸、海王丸と同等の名誉ある帆船 Ami 号船長、溜光男氏に講演いただく等団体のネットワークを活用して調整を進めている。企業支援の資金調達は、経済交流につながる可能性も含め、企業も好意的で資金の確保が可能である。写真展開催に向けて地域、企業、ロシア大使館、ロシア国内関係者等の緊密な連携で実施に向けたスケジュールを組み、関係機関との調整を進めていく。</p>
<p>活動に対する 熱意</p>	<p>※活動の動機、活動に対する意欲・熱意について記載して下さい。</p> <p>東京に事務局をおく「日ロ交流モスクワ写真展友好会」との連携により、戸田に「日ロ写真展実行委員会」を設置し、沼津市での写真展開催に向けては最新情報を入手しながら進める。幕末の戸田の歴史について地域を挙げて現代の日ロ交流に継承させ。地域が元気になる事業を積極的に行う。これらの活動を次世代交流に発展させるよう、広いネットワークを構築していく。</p>

◎次年度以降の活動予定

<p>※ソフト部門（ステップアップ型）新規または 2 回目の応募で、助成の継続（最大 3 年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載して下さい（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 東京オリンピック／パラリンピックイヤーを目途に、2020 年に沼津および伊豆半島全体へのロシア人観光客を誘客するため、以下の理由から東部地区の観光協会等に働きかけ、ロシアからのツアーを企画造成する。 <ol style="list-style-type: none"> ① 昨今訪日客の伸び率は欧州ではロシアからが最も多い。 ② 日本に一番近い都市ウラジオストクへの日本企業の進出は前年比 11% 増となっている。 ③ ANA は 19 年度中にモスクワ、ウラジオストクの 2 路線へ参入の予定あり。 ④ 政治的背景は別にしても日ロ間のビザ発給要件は緩和されてきている。 ⑤ 日本と取引のあるロシア国内旅行者との連携が可能である。 2 2020 年以降は、ロシア人ツアーの増加を図る。 3 日ロ歴史史実を継承するため、学校へ出前講座等教育普及を進めるなど、次世代交流を企画する。
--